

勇気付けられる ～ 励ましの言葉 ～

2025 年 11 月 23 日 石垣島での息子の結婚式(11 月 23 日)に、wife & 娘家族全員(アメリカ ワシントン州とミシガン州に在住)と出席した。大変貴重な『人生の忘れ得ぬ 石垣島の旅』となった(添付)。 11 月 25 日 石垣島から帰京した。 11 月 26 日 筆者は『新渡戸稲造記念センター』に寄り、その後、子供の友人宅での夕食会に参加した。 11 月 27 日 娘家族は、アメリカに帰国した。

筆者は、11 月 27 日は定例の『柏がん哲学外来』(柏地域医療連携センターに於いて)に赴いた。 3 組の個人面談の機会が与えられた。 その後『柏がん哲学外来』代表 & 『がん哲学外来あびこカフェ』代表：中野綾子氏、『がん哲学外来亀有メディカルカフェ』代表：小暮信子氏と スタッフの皆様と面談者と有意義な昼食の時を持った。

【面談者の製本 & がん哲学外来カフェ in 万座：天空のデイサービス万座で『樋野先生を囲んでちょっと早いクリスマス！』(12 月 18 日 ～ 19 日)】の話で大いに盛り上がった。『柏がん哲学外来』は、2009 年当時の国立がんセンター東病院の病院長の江角浩安先生のお計らいで、柏の葉キャンパス駅隣接の国立がんセンター東病院の施設ビルで開始し、2016 年からは、柏地域医療連携センターに移動し継続されている。

筆者は癌研所長：菅野晴夫(1925-2016)先生の下で、2003 年 吉田富三(1903-1973) 生誕 100 周年記念事業を行う機会が与えられた。 『がん哲学』とは、東大総長南原繁(1889-1974)の『政治哲学＝人間学』と、癌研所長・東大教授吉田富三の『がん学＝生物学』をドッキングさせたものである。

2008 年、順天堂大学で【『がん哲学外来 ＝ 生きることの根源的な意味を考えようとする患者と、がん細胞の発生と成長に哲学的な意味を見出そうとする病理学者の出会いの場 ＝ 医師と患者の隙間を埋める ＝ 患者さんや そのご 家族と面談し、苦しみを和らげる』】が開設された。

即座に【今は亡き『菅野晴夫先生、国立がんセンター総長の杉村隆(1926-2020) 先生、吉田富三長男で NHK のプロデューサーであった吉田直哉(1931-2008)氏』】の御 3 人から『快挙であるとの励ましのお言葉』を頂いた。 大変勇気付けられたものである

